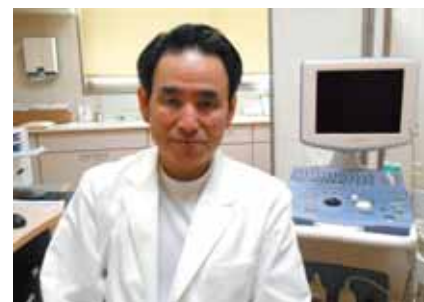


連携医院のご紹介

今回は、大規模な再開発が行われた段原地区において、「患者さんの生活の質向上」に取り組まれている「かでな泌尿器科クリニック」の嘉手納一志先生です。



嘉手納院長

かでな泌尿器科クリニック

〒732-0818
広島市南区段原日出一丁目15-13
電話/082-282-8100
院長/嘉手納 一志
診療科/泌尿器科



○開業されてから今までのご紹介について教えてください。

この地に平成21年に開業したものの、地縁がなかったため、当初は患者さんはあまり多くありませんでした。そのような中、勤務医時代に治療をさせて頂いた東広島や呉の患者さんが、遠方にもかかわらず来院された時は感激しました。

また、開業したクリニックモール内の各医療機関では、専門分野を活かした診察連携が行われており、近隣の他科の開業の先生方との連携も含めて心強さを感じています。

○毎日の診療で大切にされていることや、やりがいは何ですか。

泌尿器科は、診断から治療まで1人の医師が担当が多いため、勤務医時代から患者さんと向き合うことを心掛けていましたが、開業後は病気だけでなく、専門外の病気や家族の病気の相談まで寄せられることがあります。このように信頼関係が築けたかなと感じた時にやりがいを感じます。

また、開業場所が再開発地区のため、患者さんに子どもさんや若い女性の方も多く、幅広い年齢層の方に来ていただけていることが有難いと感じています。

○県病院はどんなところでですか。

より専門的な診察・治療が必要な時に、急な時でも紹介を快く引き受けて頂き心強く思っています。このことは、日頃の診療での気持ちの余裕にもつながっており感謝しています。



シンボルマーク

院内の本棚と受付

【取材後記】

泌尿器科の特徴を織り込んだロゴマーク作成や趣味の読書を患者さんと共有できる明るい空間づくり等により、患者さんの迷いや不安の軽減に努められているクリニックと感じました。

もみじ



県立広島病院

〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

第97号
2017.3.1
発行



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

脳神経内科

教えて



専門診療医による得意治療を紹介いたします。

脳卒中

一刻も早く専門病院へ!



脳神経内科部長
仲 博満

■脳卒中とは

脳卒中、脳血管障害、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など、いろいろな呼び方がありますが混乱してしまいがちですが、一言で言えば、脳の血管がつまる、あるいは破れることによっておこる病気です。血管がつまる疾患が脳梗塞で、アテローム血栓性梗塞、ラクナ梗塞、心原性脳塞栓症などに分けられ、それぞれ治療法が異なります。

血管が破れる疾患には、脳出血、くも膜下出血などがあります。その他に脳動静脈奇形、解離性脳動脈瘤、脳静脈洞血栓症といった比較的稀な疾患でおこる脳卒中もあります。

脳卒中では、下の絵のような症状が突然起こります。中にはこのような症状が自然に消失することもあります。その場合は一過性脳虚血発作（TIA）という、いったんつまった血管が短期間で再開通する疾患の可能性があります。TIAは放置すると脳梗塞を発症する危険性が高く、症状がなくなったからと安心することなく専門医を受診することが大切です。

脳梗塞の種類（臨床病型分類）



脳卒中による突然起こる症状

放置すると危険です!

片方の手足・顔半分の麻痺・しびれが起こる

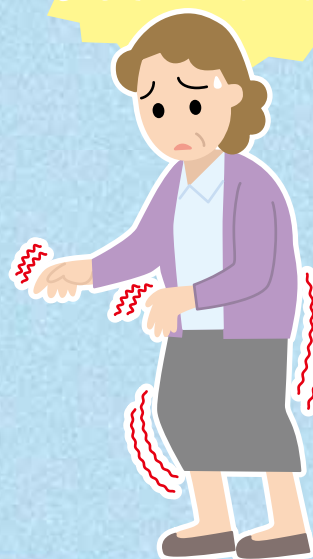


※手足のみ、顔のみの場合もあります。

ろれつが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない



力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする



片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける



経験したことのない激しい頭痛がする



次頁に続きます→

県立広島病院からのお知らせ

3月のがんサロン

開催日 平成29年 3月 15日(水)

時間 14:00~15:30

場所 新東棟2階 研修室

テーマ 『伝わりやすいコミュニケーションを考える』

講師 県立広島病院
杉 有可 臨床心理士
安食 美葵 臨床心理士

対象 悪性腫瘍(がん)で通院 または入院されている患者さん 及びそのご家族

問合せ先 がん相談センター
☎082-256-3562 (担当: 佐々木)



患者さんへ 紹介状 持参のお願い

初診時に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか下記の選定療養費のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

	医科	歯科
初診時に紹介状がない場合	5,400円	3,240円
他院への紹介にもかかわらず再診された場合	2,700円	1,620円

※当院では、予約患者さんを優先して診察しています。予約されずに受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

医療機関の方へ 診察予約のお願い

患者さんを紹介する際には地域連携センターを通じての診察予約をお願いします。選定療養費の負担もなく、待ち時間も短く、患者さんへのご負担が少なく済みます。ご協力をお願いいたします。



■脳卒中の診断と予防

脳卒中の発症には高血圧・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病や不整脈(心房細動など)、喫煙、大量飲酒が深く関わり、脳卒中の予防には生活習慣病の治療が重要です。日本脳卒中協会から脳卒中予防十か条が提唱されており、日頃からこの十か条を心がけ、脳卒中予防に努めましょう。

脳梗塞の再発予防には、抗血小板薬(アスピリン、クリピドグレル、シロスタゾールなど)や抗凝固薬(ワルファリンに加え、2011年より各種新規抗凝固薬が登場)が用いられ、脳梗塞の種類(P1参照)により使い分けます。

内頸動脈や頭蓋内動脈の狭窄あるいは閉塞に対しては、内服薬治療に加えて手術適応か否かを判断します。

生活習慣病に至る危険因子の適切な管理を行うとともに、頭部CT・MRI・頸部エコー・心エコー、血管CTアンギオグラフィなどの検査で脳、血管(脳・頸部の血管、末梢動脈)、心臓の評価を行いながら、個々の患者さんに最も良いと考えられる治療を行うよう心がけています。



エコーで頸動脈をみています

脳卒中予防十か条

- ① 手始めに **高血圧**から 治しましょう
- ② **糖尿病** 放っておいたら 悔い残る
- ③ **不整脈** 見つかり次第 **すぐ受診**
- ④ 予防には **タバコ**止める 意志を持って
- ⑤ **アルコール** 控えめは薬 過ぎれば毒
- ⑥ 高すぎる **コレステロール**も 見逃すな
- ⑦ お食事の **塩分・脂肪** 控えめに
- ⑧ 体力に 合った**運動** 続けよう
- ⑨ 万病の 引き金になる **太りすぎ**
- ⑩ **脳卒中** 起きたら**すぐに 病院へ**

番外編 お薬は 勝手にやめずに 相談を

日本脳卒中協会

■脳卒中の急性期治療

脳卒中を発症した場合にはできるだけ早期に脳卒中専門医による治療を受ける必要があります。発症後4.5時間以内の脳梗塞に対するt-PA治療(t-PAという薬剤を静脈内投与)や、カテーテルによる急性期血管内治療(t-PA治療の適応がなくても行える場合があります)により超急性期治療の効果が期待されます。

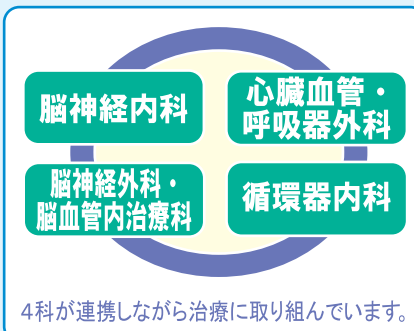
また、脳出血やくも膜下出血といった疾患では適応症例に対して緊急手術を行います。救急疾患である脳卒中に対し、積極的に治療を行っています。

脳心臓血管センター

当院では脳、心臓、血管に関する診療科が連携して、危険因子の多い人に対し、合同でカンファレンスを開きながら最適な治療ができるよう取り組んでいます。

全身の血管に多数問題があり、ご心配な方は、まずかかりつけ医にご相談のうえ、脳心臓血管外来へ紹介予約をお願いします。

脳心臓血管外来 毎週金曜日の午前中



外科医の独り言 no.66

— 神の手 —

今も昔も医療現場を題材としたテレビドラマは大変人気があるそうです。作家山崎豊子さんの原作で、昭和30年代の某旧帝国大学の外科教室がモデルとなった「白い巨塔」がそのはしりでしょうか。そこで描かれたのは一般社会の常識とはかけ離れた“権力と金権体質”で、多くの視聴者の興味を誘ったようです。主人公の財前教授を演じていたのは田宮二郎さんでした。私はその原作を大学1年生の時に読みましたが、当時は医学に関する知識がほとんどなかったため、小説とはいえ何のことが書いてあるのかさっぱりわからず、苦痛でしかなかったように記憶しています。その後テレビドラマ「白い巨塔」は、2003年に唐沢寿明さん演じる財前教授でリニューアルし、内容、構成も現代風にアレンジされていたようです。もっとも私自身は殆どこのドラマを見たことがありません、いや見ないようにしていました。

この時、私は大学病院、医局の事情をもっともよく知る医局長だったのです。昭和30年代の話が、あたかも現代でも起こっているような誤解を招く内容であり、テレビの前で「そんなことあるかい!」と本気で怒っている自分がいたのです。

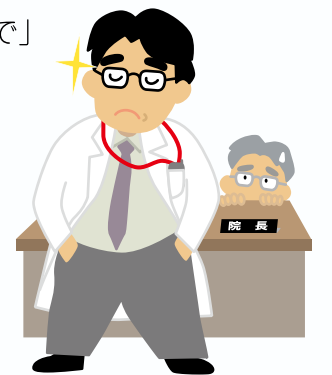
昨年も話題になったシリーズもの「ドクターX外科医・大門未知子」、視聴率20%以上の大ヒットだったようですが、医療者から見ると評判が悪かったようです。「私、失敗しないので」というセリフは患者さんにとっては大変心強い言葉です。私は、患者さんに「任せてください」と言うことはありますが、「失敗しないので」とは言えません。何故かと言えば、「失敗」の定義がはっきりしないからです。細い血管を切って出血することが「失敗」となるなら失敗しない外科医はいません。何故なら出血量ゼロの手術はないからです。誰が見てもわかる太い動脈を誤って切ったというのが「失敗」と定義されるのであれば「私、失敗しないので」と言い切れます。一方、同じ血管でも静脈は壁が薄いので、ちょっとした力加減で裂けることが

あります。これを「失敗」だと言われれば失敗しない外科医はいません。私たち外科医の認識では、血管が裂けても迅速、かつ適切に止血できれば、その出血は失敗とは言いません。手術後に合併症が起きて、残念ながら患者さんが亡くなった場合、これをすべて「失敗」と定義すれば、失敗しない外科医はいません。もちろん、状態の良い患者さんに簡単な手術だけを行っている外科医には失敗はないかもしれませんが、患者さんの状態によっては簡単なはずの「盲腸」の手術でも術後に亡くなることはゼロではありません。

最近、テレビのドキュメンタリーで「神の手」を持つ外科医が多く登場してきます。神に手があるのかどうかは良く知りませんが、私の良く知っている先生も何人が紹介されています。彼らは通常の外科医の何倍も努力して、何倍もの数の手術をこなすことにより、匠の技を習得した「熟練工」であり、予測困難な状況や大量出血の場面で幾度となく経験し、その都度臨機応変の対応で乗り越えてきた「戦士」なのです。

ただ、彼らとて自分が執刀した患者さんで、いわゆる手術死亡(術後30日以内の死亡)を経験しています。普通の外科医では対応できない手術を数多く手掛けているのですから。神の手を持つ名医といえども、いつも完璧な手術ができるわけではありません。後からああすればよかった、こうすればよかったと反省の積み重ねなのです。だから大門未知子とかいう訳のわからない外科医に

「私、失敗しないので」と簡単に言ってほしくないのです。でも「私、たぶん大丈夫だと思いますが」ではドラマにならないこともわかっています。



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本 敏行(いたもと としゆき)

ご意見箱

洗濯機の順番表

・病棟の洗濯機の順番表は、使用中なのか、終わっているかの現状が分からないので、利用者名欄に、使用済みチェック欄があると順番の目安になり、助かります。

これからも皆様のご意見に対応してまいります。

・洗濯機の順番表に使用済みチェック欄を設けて使用状況が把握しやすいよう工夫しました。
・順番表の外枠に青ラインを引き、目立つように工夫しました。

